

農業関連施設ってどんなもの？  
身近にある一例を見てみよう！



**揚水機(ポンプ)**  
川の水を汲み上げ導水を行う。



**水門**  
川より水を取水する入り口となる。



**水路**  
田んぼに使う用水や排水を導水する。



**円筒分水工**  
水を必要な系統ごとに分岐させる。

## 農地・水保全管理支払交付金制度の紹介

### 組織の設立

↓ 活動を実施する組織を設立します。

### 計画の策定

↓ 地域で取り組むそれぞれの活動の計画を策定します。

### 申請書類の提出

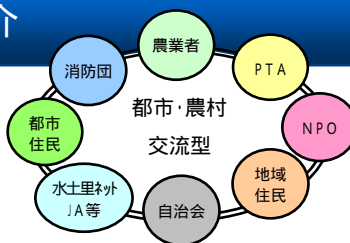
↓ 市町村と協定を結ぶなどの手続を行い、組織から地域協議会又は都道府県へ申請を行います。

### 活動の実施

↓ 交付金を受け、計画に基づき、活動を実施します。

### 活動の記録・報告

日々の活動の作業内容や金銭の収支等を記録します。  
当該年度の記録をとりまとめて報告書を作成し、市町村に提出します。



### 農地・水保全管理支払交付金制度

地域共同による農地・農業用水等の資源と地域環境の保全を行う取り組みに対して支援する制度。

この制度を活用し、地域活動により農村地域の抱える問題を解決しよう！

# 農業関連施設の管理

## 地域活動を通して



取水口の泥上げ

農業が円滑に行われる為には用排水路を代表として、揚水機（ポンプ）やため池など多くの施設が必要である。それらの設備の多くは、橋梁やトンネルなどのインフラと同様に年々老朽化してきており、補修や更新が必要なものが多くなってきた。施設管理の方法として、過去には、壊れたものから順次更新していく方法がとられてきた。しかし、現在は多くの費用が発生する更新を行うことは極力避けられており、変わって施設の長寿命化をはかる取り組みが行われている。このような流れは維持管理費用の平準化を目指す上でも大切になってきている。

農業施設の多くは、日常的には土地改良区によって管理されているが、多くの人手が必要となる場合は、組合員の人々が一丸となっ

て作業することもある。

外来生物（ブラックバス）の駆除作業もそういった活動の一つとして行われており、施設の適正な管理を促すだけでなく、生態系の保全をはかる上でも貢献している。施設管理を通して、環境の変化に気づくこともあるという。



ブラックバス駆除